



NOV 20<sup>th</sup>  
1 2 号

# 電子機械科 NEWS

Systems Engineering Mechanical & Electrical

益田翔陽高等学校

人に裏切られた  
ことなどは無い  
自分が誤解していただけだ  
★高倉 健

## 里の秋 歌詞から

■前々号から紹介してきた、右上枠中の「里の秋」は1941年に齋藤信夫氏によって作詞された。秋になるとラジオとかテレビとかで一度は流される曲である。私が少年の頃(1960年代)の童謡・唱歌。音楽の時間にはみんなと一緒に歌ったかもしれない。

■先日、NHK番組「日野正平・・・こころの旅・・・」益田編が放送された。この時、彼が益田市喜阿弥(戸田小浜町)あたりを自転車で走るときに「里の秋」を口遊んでいた。

■懐かしく、落ち着いた曲なのでここで紹介しようと思い、ウィキペディアで正確な歌詞を調べてみた。そこではじめて意味深い「うた」を知ることができた。

■小学生だったあのころ、歌詞の意味を先生が説明してくれたかどうか記憶にないが、はじめは戦意高揚の歌であることが分かった。暗く、いやな時代の話である。

■さて、来月8日はその暗い時代に突入した、真珠湾攻撃から73年目にあたる。そして、来年は終戦70年を迎える。戦後70年、相当の時を経たが、いまだに解決できてない問題が残っている。

### 1、静かな静かな 里の秋

お背戸に木の実の 落ちる夜は  
ああ 母さんとただ二人  
栗の実 煮てます いろいろばた

### 2、明るい明るい 星の空

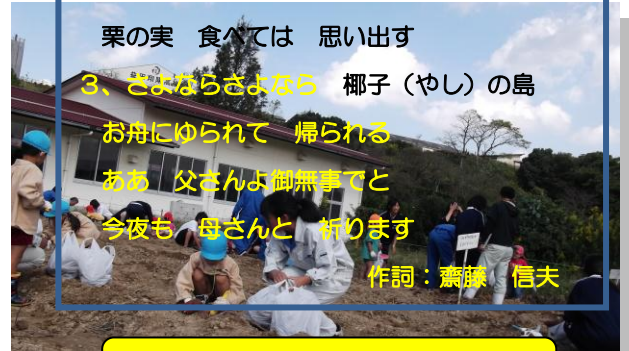
鳴き鳴き夜鴨(よがも)の 渡る夜は  
ああ 父さんのあの笑顔

栗の実 食へては 思い出す

### 3、ごよならさよなら 椰子(やし)の島

お舟にゆられて 帰られる  
ああ 父さんよ御無事で  
今夜も 母さんと 祈ります

作詞：齋藤 信夫



農場の秋 園児の芋ほり

## 3Dプリンター 翔陽祭で披露

◆昨年度末、「新技術の基礎的学習推進事業」の一環として、本校をはじめ3つの工業高校などに3Dプリンターが導入された。

◆この夏、講習があり、10月には西部高等技術校先生の技術指導もあり、1年生8人が製作活動に挑戦、右写真のような作品が完成した。

◆翔陽祭はあいにくの雨であったが、電子機械科棟入口付近で展示し、来校のみなさんにプリンターが作品を作る(描く)様子を見て貰うことができた。

●生徒感想：新しい技術知識を習得することができ、非常にやりがいがありました。翔陽祭では多くの方々に興味・関心をいただいて達成感が湧きました。とてもよい経験ができました。<野島>



### 保護者の皆様へ

メール配信でご存知かもしれませんが、

11月28日(金) 期末試験 初日

12月 3日(水) までの4日間です。

●乞う 家庭での

叱咤・激励

写真上は10月からの生徒たちの作品

写真下：製作参加した1年生

左から野島・田中・鳥居・中村・林・岩本・尾木・石橋くん達